

平成19年5月24日

高崎市長 松浦 幸雄 様

高崎市榛名地域審議会
会長 中曽根 宗 明

答 申 書

平成19年4月26日付け第24-1号で諮問された、高崎市第5次総合計画基本構想に係る地域のまちづくりについて、審議を行ったので、下記のとおり答申いたします。

記

諮問された地域のまちづくり案は、榛名地域の特性や将来像、施策の展開などこれからの10年間の総合的・計画的な行政運営の指針として、概ね適切なものでありました。

審議の結果は、諮問案に一部修正を加えて補完する下記答申内容のとおりです。

1 答申内容

(1) 地域の特性について

「観光交流ゾーン」として見た側面以外に、歴史的・文化的遺産などの特性を加えた次のとおりと考えます。

榛名地域は、豊富な歴史的・文化的遺産や榛名山麓の豊かな自然を生かした観光レクリエーション基地として、また、東日本一の生産量を誇る梅をはじめ、梨・桃等の農畜産物の供給基地として発展してきた地域です。

また、北陸新幹線安中榛名駅の開設や、榛名地域を拠点とした各地への幹線道路網の整備が進みつつあり、交流拠点としての機能が高まっています。

(2) 地域の将来像、将来像のイメージ、施策の展開について

全体的にわかりやすい表現となっており、榛名地域の施策実現に向けた方向性が示されているものと考えます。

2 審議の経過

(1) 会議の開催日と内容

ア 平成19年5月8日 各委員の意見聴取

イ 同年 同月 16日 各委員の意見調整及び答申書の作成

(2) 委員から出された意見

- ア 観光拠点と有機的に結びつけた観光ルートの整備や榛名地域を中心とした他地域との連携により、広域的な観光振興を図ること。
- イ 榛名地域の田園風景を楽しみながら、地域住民の憩いの場などで地域とのふれあいを大切にしたい、農村ツーリズム的な観光ルートを整備すること。
- ウ 週末農家・終日農家など農家ホームステイを実施することにより、田園、山里、方言などに接し、また、地場食材を使った伝統的な郷土料理を体験するなど、リピーターが増えるような魅力ある農山村グリーンツーリズムを推進すること。
- エ 箕郷地域を含め、広く高崎市の特産物として梅のブランド化を図ること。また、そのための組織づくりを図ること。
- オ ゲンサン跡地に道の駅を設置し、農産物を観光客に販売し、また、市民への地産地消を図ること。
- カ バイオマスタウン構想により、環境に与える負荷の少ないエネルギーとして、また、廃棄資源の価値ある転換として、地球の温暖化防止など環境にやさしい、循環型社会づくりを推進すること。
- キ 榛名地域の多くの人々によって守られてきた里山や森林などの自然を保全し、望ましい姿で将来に伝えていくことや、自然と共生した暮らしができるまちづくりを推進すること。

(3) その他

別添「意見取りまとめ表」参照